

“早くあつ旋再開して”

水俣
漁協 調停委も “最後の要望” へ上京

水俣漁協の松田組合長ほか各地区代表二十人は九日午前十一時半から水俣市役所市議会全員協議会室で水俣病紛争地元調停委の中村市長、淵上市議会議長、山岡、広田両市議に会い、“漁民の生活は極度に苦しくなっている。一日も早くあつせんを再開してほしい”と強く要望した。

これに対し同調停委は“委員全員が十二日新日窒東京本社にゆき漁協側のいう金銭補償を含む白紙委

任を~~会社~~社側も受け入れるよう強く要望するとともに円満解決へ協力したい”と答へ漁協側もこれを了

承して引きあげた。

地元調停委の話では“おそらく新日窒に対してはこれがわれわれの最後の要望になるだろう”といっており、新日窒側が歩みよりをみせなければこんごあつせんがつづけられるかどうか心配するむきも多い。